

がん感染症疾病対策課感染症対策係  
 担当 中山 長藤  
 直通：092-643-3597  
 内線：3066

## 福岡県感染症発生動向調査感染症週報

令和6年第15週（令和6年4月8日～令和6年4月14日）

福岡県感染症情報センター

### ■ コメント

- 第15週は、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の1医療機関当たり報告数が4.91となり、大きな流行が発生または継続しつつあるとされる警報レベルが13週連続で続いています。
- 本疾患は、A群溶血性レンサ球菌により引き起こされる感染症で、2～5日の潜伏期間の後、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛により発症します。咽頭発赤、莓状の舌等の症状の他、しばしば嘔吐を伴います。まれに重症化し、喉や舌、全身に発赤が広がる「しょう紅熱」に移行することがあります。合併症として、肺炎や敗血症、リウマチ熱等を起こすことが知られています。
- 本疾患の予防としては、患者との濃厚接触を避けることが重要です。主に飛まつや接触によって感染するため、手洗い、うがい、咳エチケット等の一般的な感染防止に努めましょう。
- 福岡県感染症情報ホームページ([https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc\\_fukuoka/](https://www.fihes.pref.fukuoka.jp/~idsc_fukuoka/))では、感染症発生情報、病原体検出情報などをご覧になれます。

### ■ 全数把握疾患報告

病名	福岡県		全国（前週）	
	報告数	累積報告数	報告数	累積報告数
結核	20	249	238	3,643
腸管出血性大腸菌感染症	4	28	21	337
アメーバ赤痢	1	8	6	142
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	26	21	463
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	28	41	649
梅毒	12	217	172	3,332
百日咳	1	14	27	169

### ■ 定点把握疾患報告数

警報レベル

注意報レベル

病名	福岡県			全国（前週）	
	報告数	定点当たり	前週比	報告数	定点当たり
新型コロナウイルス感染症	544	2.75	0.96	20,968	4.26
インフルエンザ	237	1.20	0.57	25,106	5.10
RSウイルス感染症	120	1.00	1.40	3,148	1.01
咽頭結膜熱	53	0.44	1.26	1,769	0.57
<b>A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 （警報レベル）</b>	<b>589</b>	<b>4.91</b>	<b>1.22</b>	<b>9,565</b>	<b>3.06</b>
感染性胃腸炎	497	4.14	1.07	11,375	3.64
水痘	17	0.14	0.57	385	0.12
手足口病	49	0.41	0.94	657	0.21
伝染性紅斑	3	0.03	3.00	57	0.02
突発性発しん	48	0.40	1.20	714	0.23
ヘルパンギーナ	14	0.12	1.56	97	0.03
流行性耳下腺炎	4	0.03	0.80	110	0.04
急性出血性結膜炎	2	0.08	-	7	0.01
流行性角結膜炎	10	0.38	1.67	369	0.53
細菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
無菌性髄膜炎	0	0.00	-	10	0.02
マイコプラズマ肺炎	1	0.07	1.00	41	0.09
クラミジア肺炎	0	0.00	-	-	-
感染性胃腸炎（ロタウイルス）	1	0.07	-	5	0.01

※新型コロナウイルス感染症について、現在、警報・注意報の基準値は設定されていません。